

## 連携講座 道徳教育

ねらい 道徳科の特質を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」を具現化する「考え、議論する道徳」について、授業公開・研究協議、講義・演習を通して研修する。

期 日 6月18日（火）午後

会 場 岩見沢市立明成中学校

講 師 河村 克也 氏（滝川市立江陵中学校 校長）

小関 雅史 氏（岩見沢市立明成中学校 教諭）

### 講座の様子



小関教諭から、3年生の道徳「受け継がれる思い」の授業を公開していただきました。



研究協議では、伝統をどう押さえ、生徒にどこでゆさぶりをかけるかなど活発な意見交流が行われました。



講師の河村校長から、「道徳科」として道徳教育を推進することの具体についてお話いただきました。



講師の河村校長のもと、小グループで「二通の手紙」の授業プラン作りに取り組み、交流しました。

### 受講後アンケートより

- ・道徳科について、どのような考え方で授業に臨むことがいいのかを考えることができました。
- ・個人思考—集団思考、そして振り返りのやり方が参考になりました。
- ・明成スタイルの授業が道徳の時間においても実践されていてよかったです。
- ・演習最後の教師も一緒に学ぶということが、とても印象的でした。